

「夏休みを無事故で楽しく！！」

1学期の学校生活も今日で終わり、明日から夏休みに入ります。

先週、「皆さんは1学期頑張れたという手応えを感じていますか？」という話をしました。そして、「スタートの決意の深さ」がその後の時間の満足度を決めるとお話ししました。覚えていてくれますか。

さて、自分が頑張れたかどうかというのは、本人しか分からないものですが、意外と周りを感じていることと、本人が思っていることとで、少々違っているということがあります。

「〇〇さんのいいところ探し」のような取組はよくありますが、「あなたのいいところは、〇〇ですね。」と言われたときに、自分ではそれほどでもないと思うことを言われることがあります。言われて初めて「自分はそのように思われていたのか」「自分の良さには意外と自分では気がつかないものだな」と感じる経験は誰しもあると思います。

そして、子供たち一人一人のよさを見つけるプロが、皆さんの前にいる先生です。先生は、皆さんに厳しく注意することもあったでしょう。しかし、それ以上に、皆さんの頑張りをこの1学期間じっと見守り、よさをたくさん感じてきました。今日、お渡しする「あゆみ」は、そのメッセージでもあります。私も担任時代に、あゆみをつけました。「もう少し」をつけなければならないときもありました。その時は、「ごめんね、次は『できる』になるよう先生もさらに頑張るよ」という気持ちを込めてあゆみを渡しました。小学校時代に自分が完成するわけではありません。どこまでいっても、成長途中、まだまだ伸びる、伸び続けるのです。思うような成績でなかったとしても、「これを次は頑張ればいいんだな」と気持ちを前に向けて、このあゆみを頑張る力にして行って欲しいと思います。

さて、夏休みといっても、緊急事態宣言中で、ステイホームが基本です。感染症に罹らない、広げないよう一人一人が気を付けましょう。道路で遊んだり、大声をあげたりということも、町の迷惑になりますから気を付けましょう。休みになって子供の町でのマナーが悪いなどと、ご近所からお叱りを受けるようでは残念です。ご近所にも清々しくご挨拶をし、五小の子供たちは、いつも礼儀正しく爽やかだと言われるのがいいですね。

そして、23日からいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開幕します。それに先立って、明日は、ソフトボールの試合があります。相手は強豪のオーストラリアです。オリンピックが自分の国で開催されるということは、一生のうちでもなかなかないことです。オリンピック・パラリンピックはスポーツを通しての平和の祭典です。しっかり思い出に刻んでいきたいですね。オリンピック開催が、感染症を広げる一因になることを心配する声もあるようですが、何よりも、世界の宝である選手の皆さんが、感染が拡大する東京まで来てくださって、鍛えた技を披露してくださることに心から感謝したいと思います。そして、この方達が、無事に、悔いなく競技を終え、ご帰国できることを心から願います。では、皆さん、夏休みを健康で、充実の夏にできますよう、そして、9月1日に元気にお会いできますように。これで、終業式のお話を終わります。